

## <用語解説>

- WHO/FAO 合同食品添加物専門家会議（JECFA）：コーデックス委員会に対する科学的な助言機関として、食品添加物、汚染物質、動物用医薬品などの安全性評価を行っています。
- コーデックス委員会（FAO/WHO 合同食品規格委員会）：消費者の健康の保護、食品の公正な貿易の確保等を目的として、1962年にFAOとWHOにより設置された国際的な政府間機関で、国際食品規格（コーデックス規格）を作成しています。
- 食品科学委員会（SCF）：1974年に、欧州委員会（EC）に対して食品の安全性に関する科学的なアドバイスを提供する目的で設置された委員会で、独立した科学者で構成されています。2003年に欧州食品安全機関（EFSA）に移行しています。
- 暫定耐容一日摂取量（PTDI）\*：WHO/FAO 合同食品添加物専門家会議（JECFA）が、動物試験の毒性データなどに基づいて安全性評価を行い、人が毎日一生食べ続けても健康に悪影響がでない量として設定した数字です。一週間当たりの量として設定した場合は、暫定耐容一週間摂取量（PTWI）を用います。  
\* JECFAでは、汚染物質の場合、必ず「暫定」という語を用語の一部として付すことになっています。
- 暫定的な耐容一日摂取量（t-TDI）：食品科学委員会（SCF）では、動物試験の毒性データなどに基づいて安全性評価を行い、人が毎日一生食べ続けても健康に悪影響がでない量として耐容一日摂取量（TDI）を設定していますが、毒性データ等が必ずしも十分でない場合には、暫定的な耐容一日摂取量（t-TDI）を設定しています。
- GEMS/Food：1976年に国連のFAO、UNEP及びWHOが、食物中の汚染物質を監視し、各国政府やコーデックス委員会等へ情報提供等を行う目的で開始した計画で、現在はWHOによって実施されています。汚染物質のデータを取りまとめる際の様式等も示しています。